

安保破棄ニュース

No. 527
2021. 3. 12

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三-〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六一六七六三三三三
FAX 〇六一六七六三三三三
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ <http://www.anpo-osk.jp>

2021年安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会
総会(幹事会)のお知らせ

○日時…2021年4月3日(土) 14時から
○場所…大阪グリーン会館2階ホール
これからの安保破棄大阪実行委員会の活動の在り方や、来年に実施される、沖縄・名護市長選挙、沖縄県知事選挙の支援活動などについて、多くの意見を取り入れて方針を立てていく場となります。
加盟団体、協力団体、地域実行委員会、個人幹事の方々のご出席を
お願いいたします。

『安保の真実』を伝え、 政治を変えよう！

事務局長：守山 禎三

現行の日米安保条約が締結され発効してから60年を迎えた昨年、日本そして世界は新型コロナウイルスのパンデミックという大きな試練に見舞われ、今もなおその脅威は治まること有りません。

しかしそのコロナ禍の中で、人々は政治がどれ程自らの暮らしと関わりのあるものなのかということに気づき、日本においては、自・公両党を与党とする安倍政権、そしてそれを継承する菅政権のあまりにも非科学的、しかも無為無策なコロナ対策、大阪においては維新の

会による無謀なコロナ禍まったただ中の市民を分断する「住民投票」、その後の「広域一元化」条例提案などを通して、国政、府・市政と市民との間の矛盾・乖離があぶり出され、ウソ・ごまかし、無責任、不誠実、政治の私物化、そして法治主義・民主主義を破壊し、憲法までも恣意的に変更して「戦争する国」をつくろうとする彼らの正体が見えつつあります。

菅政権の支持率は3割台にまで大きく落ち込み、政治の転換を求める声が広がってきました。

「戦争する国」をつくろうとする彼らによって、9条改憲・「敵基地攻撃能力」保有など大軍拡と日米軍事一体化が狙われるも、「安保の真実」を伝え「軍事費を削って〇〇に回せ！」と訴える私たち安保破棄実行委員会の運動の役割は、ますます重要になっていきます。平和国家日本の進むべき道が記されています。

まさにそれこそが私たち安保破棄実行委員会がめざす運動の方向であり、私たちが実現をめざす新しい政権に求められる役割です。日本国憲法が公布されて75年の大きな節目となる今年を、核兵器禁止条約の発効に続き、市民と野党の強固な共闘の力によって、新しい形の政治が誕生する歴史的な年とするために、私たちが力を合わせてがんばりましょう。

2月の23宣伝行動

2月の大阪安保23定例宣伝行動を、2月22日の月曜日に、いつもと同じく昼の12時から淀屋橋で行いました。通算393回目の行動です。

いい天気であかい中、13人の参加で、弁士による訴えと、ビラ配布、「日米地位協定の抜本的改定を求める請願」署名への協力を呼びかけました。

憲法会議、原水協、母親大会連絡会、AALAから弁士を出していただき、この間の情勢や、核兵器禁止条約発効とそれを批准しようとする日本政府の態度などについて道行く人たちに伝えていきました。

比較的ビラも多く受け取ってもらえ、署名も自ら手を伸ばして協力してくださる人も複数いました。

次回、3月の23宣伝行動は、3月23日の火曜日、昼の12時から淀屋橋で行います。

新型コロナウイルス感染拡大防止には配慮して行動を行います。体調や、移動に不安のある方は控えていただきつつ、参加可能な方はぜひご参加をお願いします。



近畿2府4県安保破棄実行委員会 連続学習講座第2弾



近畿2府4県の安保破棄実行委員会
合同の連続学習会の第2弾を4月29
日に開催します。

「沖縄はいま」と題して、沖縄県で中
心的に活動されている 沖縄県統一連
事務局長の瀬長和夫さんと名護市平和
委員会事務局長の上野郁子さんのお二
人とオンラインで結んで登場していた
できます。

この学習会開催の前日、4月28日は、
69年前にサンフランシスコ講和条約
が発効した日です。一般的には、日本
と連合国との戦争状態が終了し、日本
の主権が回復した日とされているのでし
ようが、それと同時に、条約第3条に
おいて、沖縄をはじめとする北緯29度
以南を日本から切り離しアメリカの信
託統治領とすることが記されています。

また、この講和条約は、日本が戦争をしていたすべての国と結ん
だものではなく、アメリカを中心とする国々とだけ結ばれた片面講
和でした。そのため、戦後から今に至るまでも多くの問題を残すこ
とにつながっています。

さらに、本来なら、主権を回復した国からは駐留軍は撤退しなけ
ればいけないのですが、第6条において、別途協定を結んで駐留・
駐屯する場合は認められ、この条約締結同日に「日米安保条約」が
結ばれたことよって、それ以降も米軍が占領期と全く同じ権限を
もって、日本に居座り続けることとなったのです。その後、196
0年に日米安保条約は改定されますが、経済的な縛りや、日本の再
軍備にまで言及されるなど、むしろ改悪された内容となり、在日米
軍の占領軍的特権は維持されることとなります。

4月28日は、安保破棄の運動にとつて、重要な節目の日なので

諸団体の取り組み、当面の予定など

3月

- 17日(水) 近畿安保合同オンライン会議(14:00～)
- 21日(日) 大阪革新懇・大阪におけるコロナ感染の
現状と課題を語り合い解決の方向性を探るシンポ
(13:30～16:20 大阪グリーン会館2階ホール)
- 23日(火) 大阪安保23 宣伝行動(12:00～淀屋橋)
- 26日(金) 京都安保「緊迫する米中関係と日米同盟強化の動き」
(19:00～20:30 オンライン)

4月

- 3日(土) **2021年度大阪安保「総会」**
(14:00～大阪グリーン会館2階ホール)
- 23日(金) 大阪安保23 宣伝行動(12:00～淀屋橋)
- 29日(祝) 近畿安保連続学習会第2弾「沖縄はいま」
(14:00～16:00 オンライン)

す。

今回の学習会は、より多くの人に参加していただきたいと考え、
その翌日の29日の開催としました。

コロナ禍の下ですので、オンライン学習会として行います。
14時から16時、ZOOMを使用していきます。参加費無料です。
YOUTUBEにも公開しますのでご了承ください。

お申し込みは、メールで安保破棄大阪実行委員会までお願いしま
す(ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp)。折り返し、参加方法などご連絡さ
せていただきます。
ZOOMの使用に関してのご相談も承ります。お気軽にお問い合わせ
ください。

安保破棄中央実行委員会

学習と運動交流の集い

「学習と運動交流の集い」(全
国代表者会議)が今年はコロナ
禍の影響でオンライン開催とな
りました。

集いでは、安保中央の東森さ
んが「2021年のたたかいに
どう臨むか」として報告と提案
を行われ、この間のたたかいに
おける成果と教訓を示された後
六つの課題ととりくみを提起さ
れました。

(1) 菅政権による新型コロナ
無策と、学術会議介入・国民犠
牲の政治を許さないたたかい
(2) 大軍拡と「敵基地攻撃」
態勢強化を許さず、軍事費をく
らしに回させるたたかい

(3) 辺野古新基地を断念させ、馬毛島など全国で基地建設・強化
を許さないたたかい

(4) 日米共同訓練とオスプレイの全国展開を許さないたたかい

(5) 日米地位協定の抜本改定を求めるたたかい
特別報告としては、安保中央常任幹事の小泉親司さんから「アメ
リカの新動向と日米安保廃棄のたたかい」、沖縄県統一連事務局長
の瀬長和夫さんからは「辺野古新基地建設阻止へー2022年名護
市長選挙と知事選挙勝利のために」と題してのお話がされ、以下、
西之表市の橋口さん・群馬の生方さん・鳥取の平良さん・東京の岸
本さんなど12名の方々からの報告が行われました。

それら全国からの報告を通して、安保法制の制定後軍拡が増強さ
れ、自衛隊と米軍との一体化が進んでいる実態が明らかとなり、ま
さに日本中が「戦前」。一歩間違えば、いつ戦争に突入してもおか
しくない状況に置かれているということを感じさせられました。
しかし同時に、同じこの5年間に、私たち国民の意識は「政治を
変えるのは私たちだ！」と大きく発展していることを確信できる、
全国に広がる市民のたたかいに大きな展望を感じることができ
集いでもありました。

そして、幸いにも現在米軍基地のない大阪ですが、かつて197
0年代には、能勢へのナイキ基地建設計画に反対してたたかった歴
史があることも思い返し、いまこそ、沖縄での、そして全国でのた
たかいに学びながら、大阪でもハラ8分・ハラ6分での本当の「オ
ール大阪」と言える共闘が実現できるように、私たちががんばらね
ばと思う集いとなりました。